

令和5年度 高短生調査の結果報告

高田短期大学 自己点検・評価委員会

<本調査の目的>

高田短期大学に在籍する学生に対して質問紙調査を行い、学生の学習成果や短大生活の満足度等を把握し、高田短期大学の今後の教育や学生支援を改善・向上させていくための基礎資料の蓄積を目的とする。

<調査方法>

高田短期大学の全学生を対象として、質問紙調査を実施した。調査項目は①「基本属性」②「1週間あたりの活動時間」③「地域交流活動と学校行事への参加」④「大学生生活の満足度」である。調査日は、1年生は令和6年3月1日～令和6年3月19日、2年生は令和6年2月20日～令和6年3月19日の期間に実施した。

<結果>

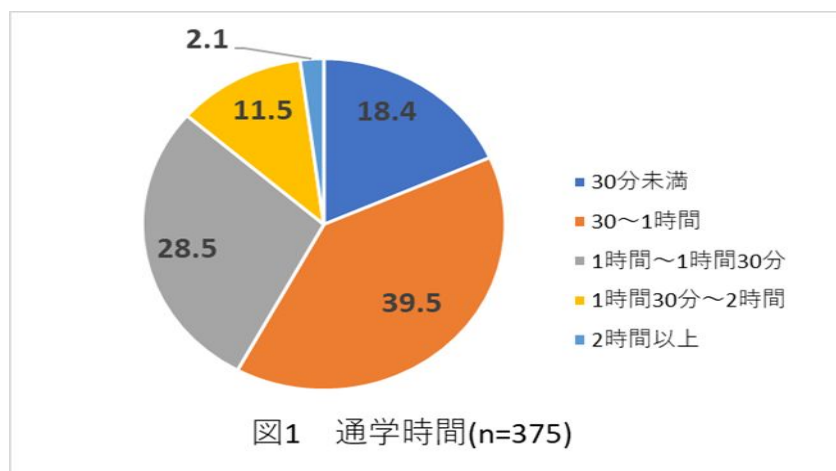
①基本属性：所属学科および学年を表1・2に、通学時間を図1に示した。(回答者のみ)

表1 所属

	人数	%
子ども学科	250	66.7
キャリア育成学科オフィスワークコース	81	21.6
キャリア育成学科介護福祉コース	44	11.7
合計	375	100.0

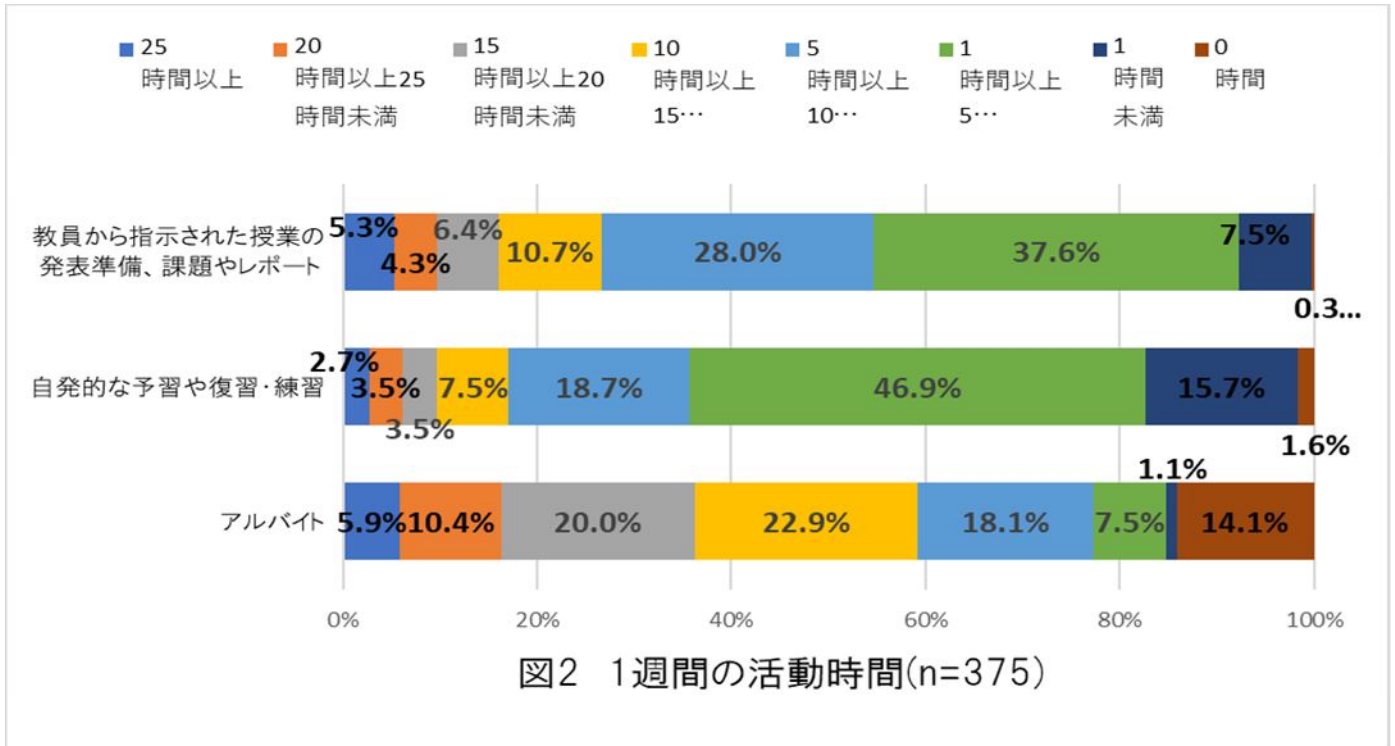
表2 学年

	人数	%
1年	188	50.1
2年	187	49.9
合計	375	100.0

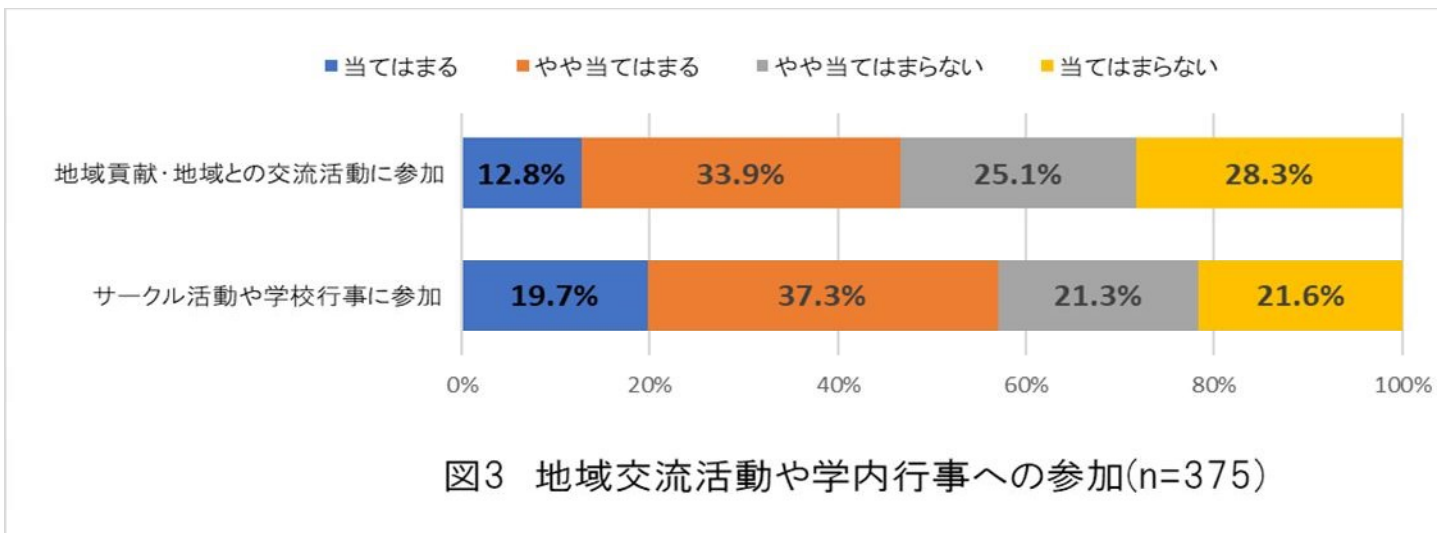


<結果>

②1週間あたりの活動時間



③地域交流活動と学校行事への参加



④大学生活の満足度

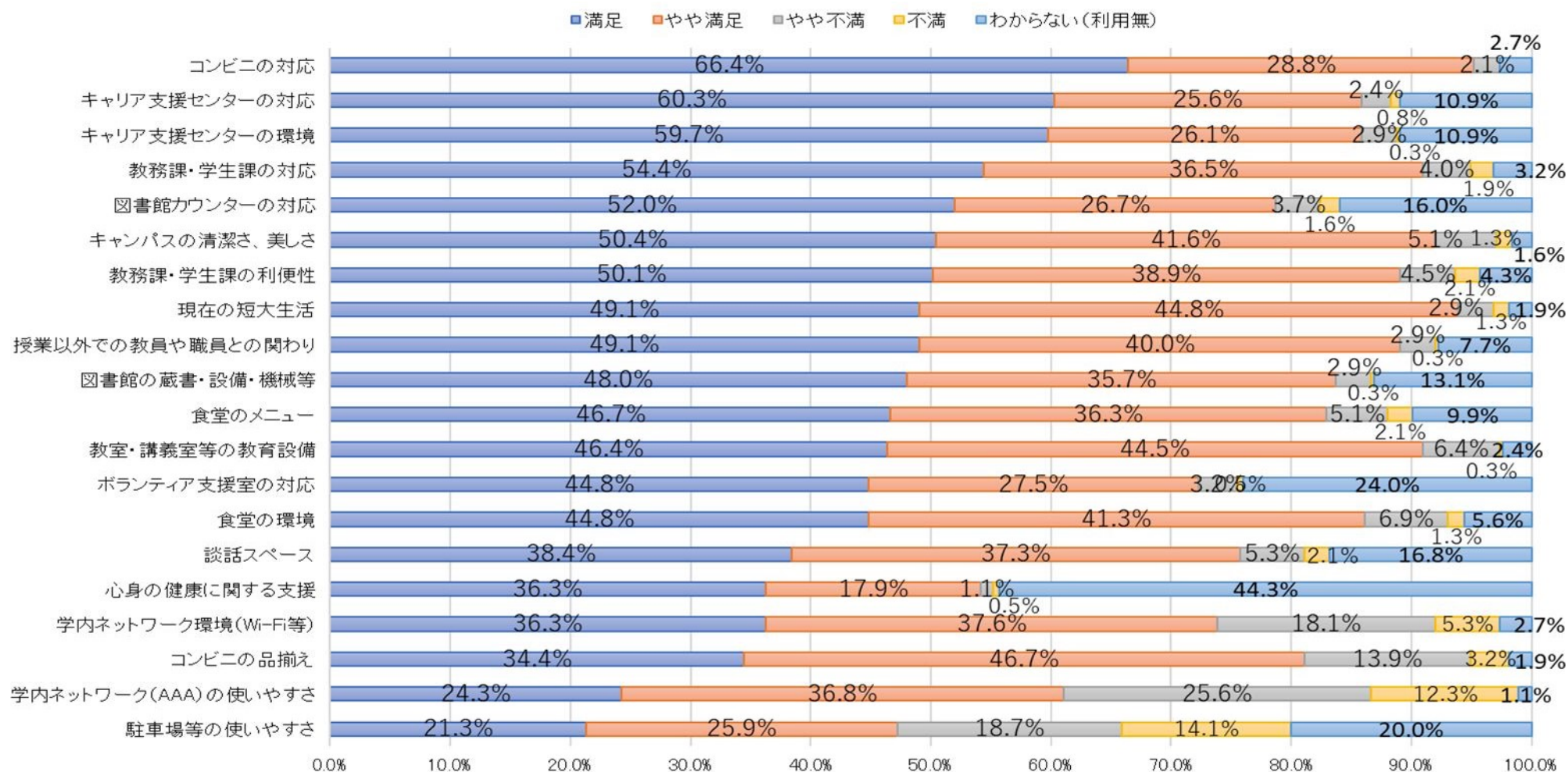


図4 大学生活の満足度(n=375)

<p>* 分析対象 調査は470名の学生に行い、375名の回答があった(回答率79.8%)。</p>
<p>* 通学時間(図1) 1時間以内通学圏内の学生が57.9%で半数以上であった。</p>
<p>* 1週間あたりの活動時間(図2): 授業外での学習時間では、課題やレポート等には1週間で5時間未満と回答する学生が45.4%で、予習・復習等自発的な学習では5時間未満が64.2%であった。アルバイト時間では、していない学生は14.1%であり、1週間15時間以上の学生が36.3%であった。</p>
<p>* 地域交流活動と学校行事への参加(図3) ボランティアなどの地域活動への参加は半数未満、学校行事は半数以上の参加である。どちらかと言えば、学校行事よりも地域活動への意識が薄い。</p>
<p>* 短大生活に関する満足度(図4) 93.9%の学生が現在の短大生活に満足している。大学の施設や教職員の対応についてはほとんどが90%前後が満足している。一方で駐車場の使いやすさやネットワーク環境の満足度は他と比較すると低い傾向にある。</p>
<p>* まとめ ・回答率は79.8%であった。昨年度の回答率(79.5%)とほとんど同じくらいである。今後、さらに回答率を上げるには、アンケート項目の数を減らし回答する負担を軽減するか、ゼミ別での回答を求め丁寧に指導するかなどの方法が考えられる。 ・《通学時間や1週間あたりの活動時間》については、結果のほとんどが昨年度と大きな違いが見られなかった。 ・《短大生活に関する満足度》については「満足」「やや満足」が90%以上(93.9%)であり、昨年度(94.0%)と変化はなく、満足度が高い。 満足度の詳細を見ていくと、全体に大学の施設や教職員の対応の満足度が高く、それが短大生活の満足度の高さに影響していると言える。満足度が低い内容については、その理由や要望について具体的に記述されている部分もあるので、さらに学生の学生生活が充実したものになるように改善できる内容を検討したい。 わからない(利用無)が10%以上の項目を高い順に示すと、保健室やカウンセリング室等の心身の健康に関する支援(44.3%)、ボランティア支援室の対応(24.0%)、図書館カウンターの対応(16.0%)、図書館の蔵書・設備・機械等(13.1%)、キャリア支援センターの環境(10.9%)、キャリア支援センターの対応(10.9%)である(駐車場、談話スペースの利用を除く)。中でも、心身の健康に関する支援については、およそ半数であり、利用する必要がないのであれば問題ないが、保健室やカウンセリング室を利用しにくい、あるいはそのような場が周知されていないという理由であれば、改善をする必要がある。</p>